

香取広域市町村圏事務組合  
循環型社会形成推進地域計画

平成 26 年 12 月 22 日

平成 29 年 12 月 13 日 変更報告

香取広域市町村圏事務組合

(香取市、神崎町、東庄町)



## 「目次」

### 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

- (1) 対象地域..... 1
- (2) 計画期間..... 1
- (3) 基本的な方向..... 1
- (4) 広域化の状況..... 1

### 2 循環型社会形成推進のための現状と目標

- (1) 一般廃棄物等の処理の状況..... 3
- (2) 一般廃棄物等の処理の目標..... 4

### 3 施策の内容

- 1) 発生抑制、再使用の推進..... 5
  - (1) 生活系、事業系ごみ対策..... 5
  - (2) 処理体制..... 6
  - (3) 処理施設等の整備..... 9
  - (4) 施設整備に関する計画支援事業..... 9
  - (5) その他の施策..... 10

### 4 計画のフォローアップと事後評価

- (1) 計画のフォローアップ..... 11
- (2) 事後評価及び計画の見直し..... 11

#### ◆添付資料

- 添付資料1 対象地域図..... 12
- 添付資料2 現有施設と予定施設..... 13
- 添付資料3 目標の設定に関するグラフ等..... 14
- 添付資料4 分別区分説明資料..... 16
- 添付資料5 現有処理施設の概要..... 17
- 様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1..... 20
- 様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2..... 22
- 様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧..... 23
- 参考様式1 施設概要（リサイクル施設系）..... 24
- 参考資料様式6 計画支援概要..... 26



## 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

構成市町村名：香取市、神崎町、東庄町

面積：328.32km<sup>2</sup>（添付資料 対象地域図 12 ページ 参照）

人口：103,969 人（平成 25 年 10 月 1 日現在）

（内訳）

市町名	香取市	神崎町	東庄町
面積（k m <sup>2</sup> ）	262.31	19.85	46.16
人口（人）	82,360	6,520	15,089

### (2) 計画期間

本計画は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

本組合の構成市町である香取市、神崎町、東庄町は添付資料 1 に示すとおり千葉県の大東部に位置し、東京都心から約 55～80km 圏に、また県都千葉市から約 35～60km 圏に位置しており、圏域の北は茨城県に接している。

圏域の北部地域には利根川が東西に流れ、流域には水田地帯が広がっている。それに対して中央部・南部は北総台地の一角をなす山林と畑を中心とした平坦地が広がっており、圏域全体として水と緑豊かな農村景観が形成されている。

本組合では、一般廃棄物の処理をしているが、市町合併や組合の統合後、ごみの分別方法の統一化、住民負担の統一化を図ってきたが、複雑化したごみ収集及び直接搬入の統一化が図れていない。これが再利用・再資源化の推進の支障になっており、処理効率にも悪影響を及ぼしている。

このため、効率的なごみ処理に向けて、処理施設の統合、処理方式の統一と併せてリサイクル施設（ストックヤード）を整備するものである。

なお、設置は仁良清掃工場を解体（廃焼却炉）した跡地及び長岡不燃物処理場を含めた場所とし、資源物や枝木、漂流災害ごみ等のストックヤードを整備する。

### (4) 広域化の状況

香取広域市町村圏事務組合（以下、本組合とする。）は、次頁の表に示すとおり、昭和 46 年に 1 市 8 町（佐原市、下総町、神崎町、大栄町、小見川町、山田町、栗源町、多古町、及び東庄町）の構成で設置された一部事務組合である。平成 18 年 3 月 27 日に佐原市、小見川町、山田町、栗源町が合併し香取市となり、また、成田市に 2 町（下総町、大栄町）が編入合併したことにより、現在の構成は 1 市 3 町（香取市、神崎町、多古町及び東庄町）となっている。

表 1 香取広域市町村圏事務組合の沿革

年月日	内容	備考
昭和 46 年 9 月 3 日	香取広域市町村圏事務組合設立	佐原市、下総町、神崎町、大栄町、小見川町、山田町、栗源町、多古町、東庄町
平成 18 年 3 月 27 日	香取市が誕生、下総町、大栄町が成田市に編入合併	—
平成 19 年 4 月 1 日	北総西部衛生組合と統合	香取市（旧佐原市、旧栗源町の区域）、成田市（旧下総町、旧大栄町の区域）、神崎町の清掃事業やし尿処理事業の運営を統合
平成 21 年 4 月 1 日	香取市東庄町清掃組合と統合	香取市（旧小見川町、旧山田町の区域）及び東庄町の清掃事業やし尿処理事業の運営を統合
平成 24 年 3 月 31 日	成田市が脱退	成田市（旧下総町、旧大栄町の区域）が脱退

平成 26 年現在、一般廃棄物を共同処理する事務は、下記の表 2 に示すとおりとなっている。  
また、ごみ処理の収集・運搬体制は図 1 に示すとおりとなっている。多古町は「匝瑳市ほか二町環境衛生組合」が行っている。

表 2 本組合の廃棄物に関する共同処理の状況（平成 26 年現在）

共同処理する事務	市町村名
可燃性廃棄物処理施設の設置、管理及び運営に関する事務	香取市 神崎町 東庄町
不燃性廃棄物（容器包装廃棄物を含む。）処理施設の設置、管理及び運営に関する事務	
可燃性廃棄物の収集に関する事務 不燃性廃棄物（容器包装廃棄物を含む。）の収集に関する事務	香取市 東庄町

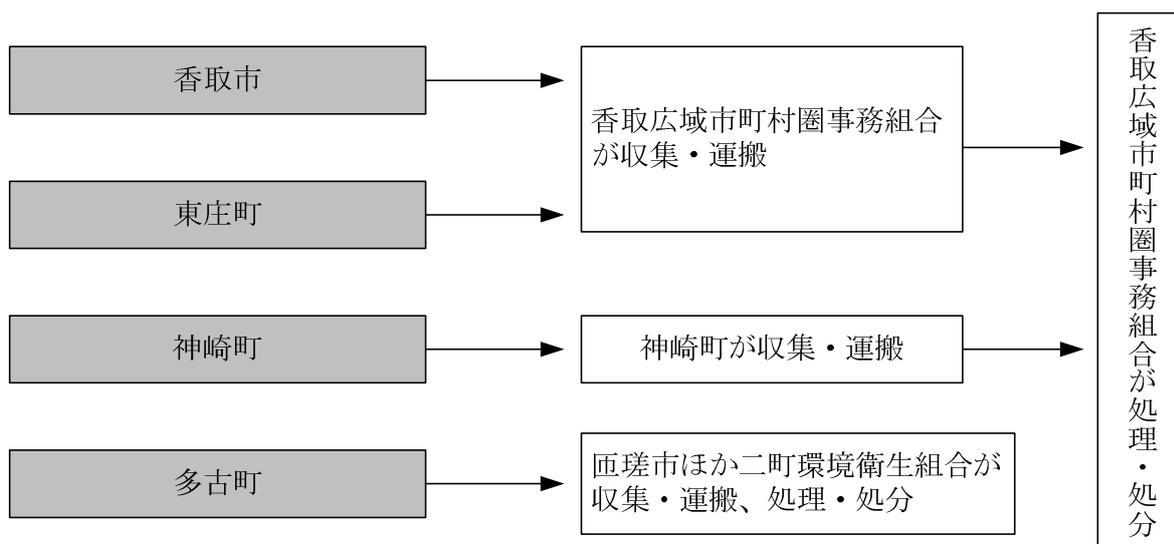


図 1 ごみの収集処理体制

## 2 循環型社会形成推進のための現状と目標

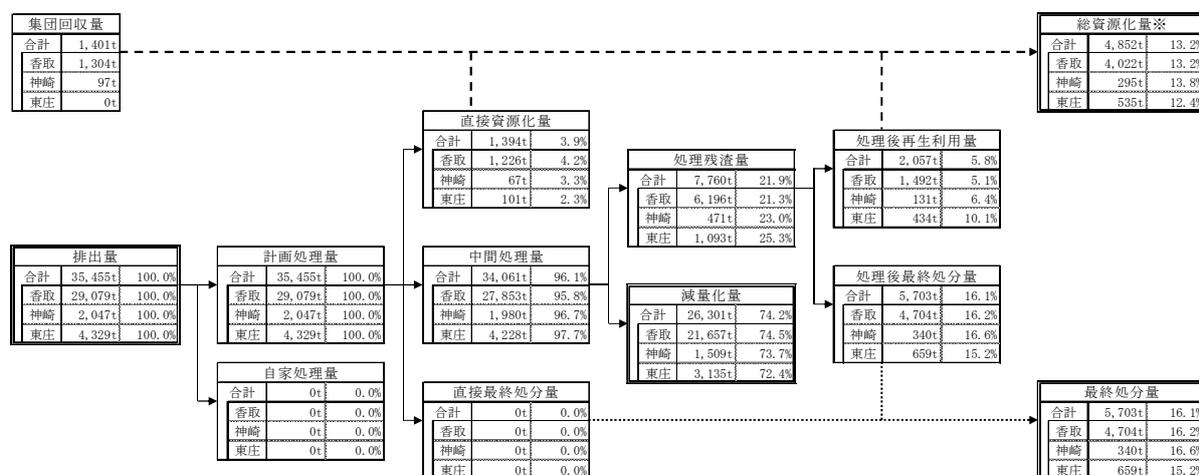
### (1) 一般廃棄物等の処理の状況

平成 25 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は、図 2 のとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め 36,856 t であり、再生利用される「総資源化量」は 4,852 t、リサイクル率\*は 13.2%である。

中間処理による減量化量は 26,301 t であり、集団回収量を除いた排出量の 74.2%を減量化している。また、集団回収量を除いた排出量の 16.1%に当たる 5,703 t が埋め立てられている。なお、中間処理量のうち、焼却量は 30,344 t である。

※リサイクル率＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量）



※総資源化量の割合は、リサイクル率である。

図 2 一般廃棄物の処理状況フロー（平成 25 年度）

(2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表3のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組む。

表3 減量化、再生利用に関する現状と目標

指標		現状 (割合 <sup>※1</sup> ) (平成25年度)	目標 (割合 <sup>※1</sup> ) (平成32年度)
排出量	事業系 総排出量	7,454 トン	6,463 トン (-13.3%)
	1事業所当たりの排出量 <sup>※2</sup>	1.65 トン/事業所	1.43 トン/事業所 (-13.3%)
	生活系 総排出量	28,001 トン	23,585 トン (-15.8%)
	1人当たりの排出量 <sup>※3</sup>	244 kg/人	181 kg/人 (-25.8%)
合計 排出量合計		35,455 トン	30,048 トン (-15.2%)
再生利用量	直接資源化量	1,394 トン (3.9%)	3,228 トン (10.7%)
	総資源化量	4,852 トン (13.2%)	8,004 トン (25.3%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	26,301 トン (74.2%)	19,216 トン (64.0%)
最終処分量	埋立処分量	5,703 トン (16.1%)	4,419 トン (14.7%)

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合。

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《用語の定義》

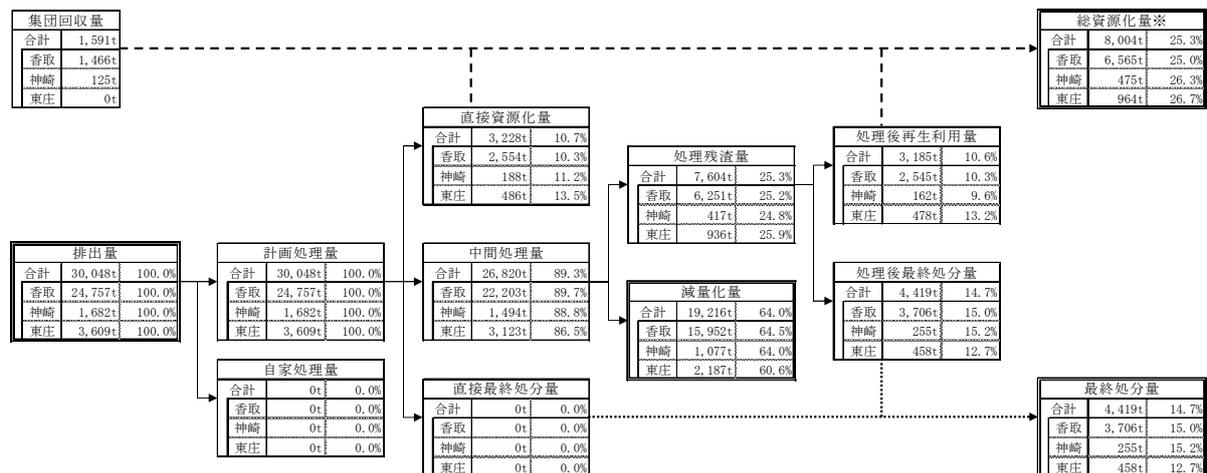
排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量 (集団回収されたごみを除く。) [単位：トン]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位：トン]

エネルギー回収量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位：MWh]

減量化量：中間処理量と処理後の残渣量の差 [単位：トン]

最終処分量：埋立処分された量 [単位：トン]



※総資源化量の割合は、リサイクル率である。

図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー (平成32年度)

### 3 施策の内容

循環型社会の構築を目指す本組合においては、今後、循環型社会形成推進地域計画等を通じ、住民・事業者から排出される廃棄物を発生源から抑制するため、以下の施策について、今後の展開の中で取り組むこととする。

#### 1) 発生抑制、再使用の推進

##### (1) 生活系、事業系ごみ対策

廃棄物の発生を抑制し、循環的利用を促進するために、住民、事業者、行政が適切な役割分担の下で、それぞれが積極的な取組みを図るため下記の方策を行う。

##### ア 環境教育、普及啓発の充実

ごみの減量化や再生利用、分別等について、市、町広報紙やホームページによる啓発推進の検討、学校等での環境教育及び自治会、市、町民団体等に施設見学会の開催によるごみの減量化、分別等、3R運動による環境保全への理解、意識の高揚を図る。

##### イ 多量排出事業者対策

多量排出事業者に対し、今後も減量化指導を徹底して行う。

また、小規模事業者にも減量化に対する協力を求めていくこととする。

##### ウ 有料化

平成22年4月1日から香取市、東庄町は、本組合作製の統一指定袋（可燃ごみ、不燃ごみ、空ビン、空カン、ペットボトル）による収集をしている。

また、神崎町は、神崎町作製の統一指定袋、（可燃ごみ、不燃ごみ、空ビン、空カン、ペットボトル）による収集をしている。香取市、東庄町は可燃ごみのみ有料指定袋、神崎町は全種有料指定袋となっている。生活系ごみにおいては、施設への直接搬入ごみが一定量以上は有料となっている。事業系ごみは、全量有料となっている。

今後は、排出抑制とリサイクル促進のため、市、町と協議を重ねていく。

##### エ リサイクルの促進

リサイクル施設（ストックヤード）を整備することにより、発泡スチロール、プラスチック製容器包装、ペットボトル、衣類、古紙、生枝木等、資源化量の増加を図る。

家庭から排出される「生ごみ」についても資源化の検討をしていく。

## (2) 処理体制

### ア 生活系ごみの処理体制の現状と今後

家庭から排出されるごみの分別区分及び処理方法については、表4のとおりである。

現状では、可燃ごみ、可燃性粗大ごみ、資源物、不燃ごみに分別し、焼却あるいは資源化のための選別（機器選別、手選別）を行い、焼却残渣及び選別後の残渣を埋立処分している。

今後は、分別排出の徹底、発泡スチロール、プラスチック製容器包装の資源化の促進を図る。

### イ 一般廃棄物処理施設の集約

現在、香取市（佐原地区・栗源地区）と神崎町の可燃ごみは、伊地山クリーンセンターに収集運搬し、焼却処理をしており、不燃ごみ及び資源物（空ビン、空カン）については、伊地山粗大ごみ処理施設に収集運搬し、処理を行っている。

また、香取市（小見川地区・山田地区）と東庄町の可燃ごみは、仁良清掃工場に収集運搬し、焼却処理をしており、不燃ごみ及び資源物（空ビン、空カン）については、長岡不燃物処理場に収集運搬し、処理を行っている。

上記のように、可燃ごみと不燃ごみについて本組合では4つの施設でそれぞれに処理を行っているが、可燃ごみについては、老朽化が著しい仁良清掃工場での焼却処理を終了し、伊地山クリーンセンターに集約して処理を行い処理経費の削減を図る。

また、不燃ごみについては、伊地山粗大ごみ処理施設で、資源物（空ビン、空カン）については、長岡不燃物処理場に集約して処理を行い、資源化の向上を図る。

さらに、可燃ごみとして収集されている発泡スチロールなどについても分別することで、更なる資源化が可能となることから、発泡スチロールの減容化設備を備えたりサイクル施設（ストックヤード）の整備を行い資源化に努める。

なお、住民が自ら搬入する場合については、施設の集約による利便性の低下を防ぐため、管理棟及びストックヤードを整備することで現在と同様の搬入を可能とし資源化に努める。

### ウ 事業系ごみの処理体制の現状と今後

事業系ごみについては、事業者自ら処理をするが、処理が出来ない場合には、処理施設へ直接搬入するか、一般廃棄物収集運搬許可業者に収集運搬を依頼しており、この場合の分別区分は生活系ごみと同様である。

今後も現状と同様の処理とするが、施設へ直接搬入する場合の搬入施設は、可燃ごみは伊地山クリーンセンター、不燃ごみは伊地山粗大ごみ処理施設へ搬入することとなる。

### エ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現状では産業廃棄物の処理は行っておらず、将来的にも計画に含まれていない。

## オ 今後の処理体制の要点

- ◇ 可燃ごみの処理施設は、伊地山クリーンセンターに集約する。
- ◇ 不燃ごみ（金属製品類、電気製品類、ガラス・セトモノ類）は、伊地山粗大ごみ処理施設に集約する。
- ◇ 資源物（空ビン、空カン）は、長岡不燃物処理場に集約する。
- ◇ 施設の老朽化等から仁良清掃工場は解体し、跡地に漂流・漂着及び災害ごみのストックヤードを整備する。  
また枝木等のストックヤードを整備し、資源化を図る。
- ◇ 長岡不燃物処理場は、管理棟、受入仕分作業場、発泡スチロール、プラスチック製容器包装、古紙、衣類、ペットボトル、発泡スチロールの減容化設備を備えたりサイクル施設（ストックヤード）を整備し、資源化を図る。

表 4 香取広域市町村圏事務組合の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状(平成25年度)						
地区	分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績(トン)	
香取市	可燃ごみ		焼却 資源化 残渣埋立	香取 広域市町村圏	伊地山 クリーン センター	10,728
	可燃粗大ごみ	木・竹・枝等				
	資源物	ペットボトル 空ビン・空カン 紙類・衣類・布類 発泡スチロール 小型家電	破砕 選別 資源化	香取 広域市町村圏	伊地山 粗大ごみ 処理施設	1,698
	不燃ごみ	ガラス・セトモノ類 金属製品類 電気製品類				
	埋立ごみ	瓦・ブロック・石・砂	破砕・埋立 資源化	市委託処理		-
	可燃ごみ		焼却 残渣埋立	香取 広域市町村圏	仁良 清掃工場	8,118
	可燃粗大ごみ					
	資源物	ペットボトル 空ビン・空カン 紙類・衣類・布類 小型家電	破砕 選別 資源化	香取 広域市町村圏	長岡 不燃物 処理場	714
	不燃ごみ	ガラス・セトモノ類 金属製品類 電気製品類				
	自宅収集	可燃粗大ごみ	焼却 破砕・選別 資源化			395

今後(平成32年度)							
地区	分別区分	処理方法	処理施設等		処理予測(トン)	備考	
			一次処理	二次処理			
香取市	可燃ごみ		焼却	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 クリーン センター	残渣埋立	
	可燃粗大ごみ	木・竹・枝等					資源化
	埋立ごみ	瓦・ブロック・石・砂	破砕・埋立 資源化	市で民間委託処理		-	
	資源物	空ビン・空カン	選別 減容 資源化	香取広域市町村圏事務組合	長岡不燃物 処理場 リサイクル施設	4,959	佐原地区 栗原地区
		ペットボトル ペットボトルキャップ 紙類・衣類・布類 プラスチック製容器包装 発泡スチロール 小型家電	売却・破砕 減容 資源化	市リサイクル拠点施設 伊地山クリーンセンター	売却・破砕 減容 資源化		
	不燃ごみ	ガラス・セトモノ類 金属製品類 電気製品類	破砕 選別 資源化	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 粗大ごみ 処理施設	716	佐原地区 栗原地区
	自宅収集	可燃粗大ごみ	破砕・選別 減容・焼却	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 クリーン センター		売却 可燃焼却 資源化 残渣埋立

現状(平成25年度)						
地区	分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績(トン)	
神崎町	可燃ごみ		焼却 残渣埋立	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 クリーン センター	1,538
	可燃粗大ごみ					
	資源物	空ビン 空カン	破砕 選別 資源化	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 粗大ごみ 処理施設	144
		ペットボトル ペットボトルキャップ 紙類・衣類 小型家電				
	不燃ごみ	空ビン・空カン ガラス・セトモノ類 金属製品類 電気製品類	破砕 選別 資源化	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 粗大ごみ 処理施設	160

今後(平成32年度)							
地区	分別区分	処理方法	処理施設等		処理予測(トン)	備考	
			一次処理	二次処理			
神崎町	可燃ごみ		焼却	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 クリーン センター	残渣埋立	
	可燃粗大ごみ	木・竹・枝等					資源化
	資源物	ペットボトル ペットボトルキャップ 紙類・衣類	選別 資源化	町で民間委託処理		353	
		空ビン・空カン 発泡スチロール プラスチック製容器包装	選別 減容 資源化	香取広域市町村圏事務組合	長岡不燃物 処理場 リサイクル施設		
	不燃ごみ	ガラス・セトモノ類 金属製品類 電気製品類	破砕 選別 資源化	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 粗大ごみ 処理施設	42	売却 可燃焼却 資源化 残渣埋立

現状(平成25年度)						
地区	分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績(トン)	
東庄町	可燃ごみ		焼却 残渣埋立	香取広域市町村圏	仁良 清掃工場	3,186
	可燃粗大ごみ					
	資源物	ペットボトル 空ビン・空カン 紙類・衣類・布類 小型家電	破砕 選別 資源化	香取広域市町村圏	長岡 不燃物 処理場	101
		ガラス・セトモノ類 金属製品類 電気製品類				
	自宅収集	可燃粗大ごみ 不燃粗大ごみ	焼却 破砕・選別 資源化			396

今後(平成32年度)							
地区	分別区分	処理方法	処理施設等		処理予測(トン)	備考	
			一次処理	二次処理			
東庄町	可燃ごみ		焼却	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 クリーン センター	残渣埋立	
	可燃粗大ごみ	木・竹・枝等					資源化
	資源物	空ビン・空カン	選別 減容 資源化	香取広域市町村圏事務組合	長岡不燃物 処理場 リサイクル施設	636	売却 破砕 減容 資源化
		ペットボトル ペットボトルキャップ 紙類・衣類・布類 発泡スチロール 小型家電 プラスチック製容器包装	売却・破砕 減容 資源化		長岡不燃物 処理場 リサイクル施設		
	不燃ごみ	ガラス・セトモノ類 金属製品類 電気製品類	破砕 選別 資源化	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 粗大ごみ 処理施設	124	売却 可燃焼却 資源化 残渣埋立
	自宅収集	可燃粗大ごみ 不燃粗大ごみ	破砕・選別 減容・焼却	香取広域市町村圏事務組合	伊地山 クリーン センター		

### (3) 処理施設等の整備

#### ア 廃棄物処理施設

上記の表4に示す分別区分及び処理体制で処理を行うため、表5のとおり必要な施設整備を行う。

表5 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	マテリアルリサイクル推進施設	リサイクル施設整備事業	ストックヤード <sup>*</sup> 250m <sup>2</sup>	千葉県香取市仁良字牧野113番地1	H28～H29
2	マテリアルリサイクル推進施設	リサイクル施設整備事業	減容施設 10kg/h ストックヤード <sup>*</sup> 320.18m <sup>2</sup>	千葉県香取市長岡字牧野1539番地	H27～H29

(整備理由)

事業番号1 マテリアルリサイクルの推進

事業番号2 マテリアルリサイクルの推進

### (4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表6のとおり計画支援事業を行う。

表6 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	リサイクル施設（事業番号1）に係る仁良清掃工場解体工事に係る事前調査及び発注仕様書等作成業務	廃焼却炉解体計画 実施設計 発注仕様書等作成 廃焼却炉解体事前調査 ダイオキシン類等調査	H27
	リサイクル施設（事業番号1）に係る実施設計等作成業務	実施設計等作成 実施設計見直し	H27～H29
32	リサイクル施設（事業番号2）に係る実施設計等作成業務	地質調査 実施設計等作成	H27

## (5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

### ① 処理困難物の適正処理

香取市、東庄町は、ごみの分別表「家庭ごみの分け方」において、神崎町は、ごみの分別表「ごみの出し方一覧表」において、処理困難物を記載しているが、販売店や処理業者に委託するよう啓発活動を続ける。

### ② 不法投棄対策

処理施設の集約化に伴い、運搬距離が遠くなることにより、不法投棄の拡大が懸念される。

市、町においては、自治会等の単位に配置した不法投棄監視員との連携、ボランティアによる地域における不法投棄対策を行い、監視活動を強化する。散乱ごみの清掃、美化、不法投棄対策に努める。

### ③ 災害時の廃棄物処理に関する事項

市、町が策定済の地域防災計画を踏まえ、災害時に多量に発生するごみの処理や一時保管等具体的内容を明確にする。広域的処理体制の確保を図り、効率的に処理、処分できる体制を確保する。

なお、未策定である震災・水害廃棄物計画を早期に策定する。

### ④ 各種リサイクル法への対応

個別にリサイクル法が制定されている家電・小型家電・パソコン等については、それぞれの法律に基づく適切な回収、再商品化を推進するように、引き続き市、町と協力し普及活動を行う。

## 4 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

毎年度、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、本組合、香取市、神崎町、東庄町、千葉県及び国と意見交換しつつ、計画の進捗状況を勘案し計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画の見直しをするものとする。



# 添 付 書 類



## 添付資料 1 対象地域図

対象となる地域は香取市、神崎町、東庄町の1市2町であり、以下図の網掛け部分である。



図 S-1 対象地域図



添付資料3 目標の設定に関するグラフ等

目標の設定に関するグラフを以下の表と図に示す。

表 S-1 ごみ量の目標の設定に関する表

		生活系ごみ	事業系ごみ	人口 (人)
実績	H21	31,924	8,366	107,832
	H22	28,453	8,510	106,770
	H23	28,298	7,478	105,759
	H24	28,513	7,002	105,310
	H25	28,001	7,454	103,969
推計	H26	28,044	7,304	102,994
	H27	27,242	7,156	102,033
	H28	26,306	6,967	101,089
	H29	25,454	6,800	100,159
	H30	24,621	6,633	99,242
	H31	23,860	6,481	98,338
	H32	23,585	6,463	97,448

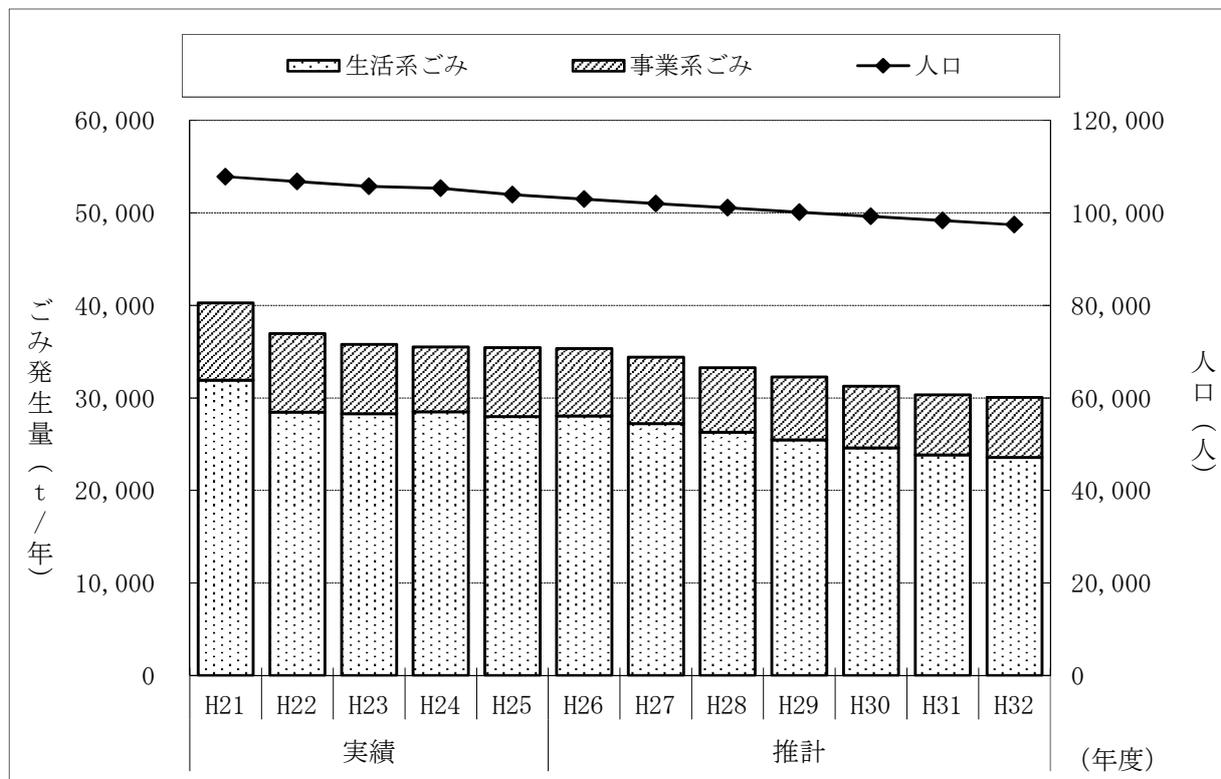


図 S-3 ごみ量の目標の設定に関するグラフ

表 S-2 リサイクル及び最終処分目標の設定に関する表

単位：t/年

		総資源化量	最終処分量	リサイクル率
実績	H21	6,068	5,587	14.5%
	H22	4,930	5,271	12.8%
	H23	5,838	6,007	15.7%
	H24	4,796	5,873	13.0%
	H25	4,852	5,703	13.2%
推計	H26	5,027	5,836	13.7%
	H27	5,671	5,566	15.8%
	H28	6,279	5,267	18.1%
	H29	6,892	4,990	20.4%
	H30	7,495	4,718	22.8%
	H31	8,102	4,460	25.4%
	H32	8,004	4,419	25.3%

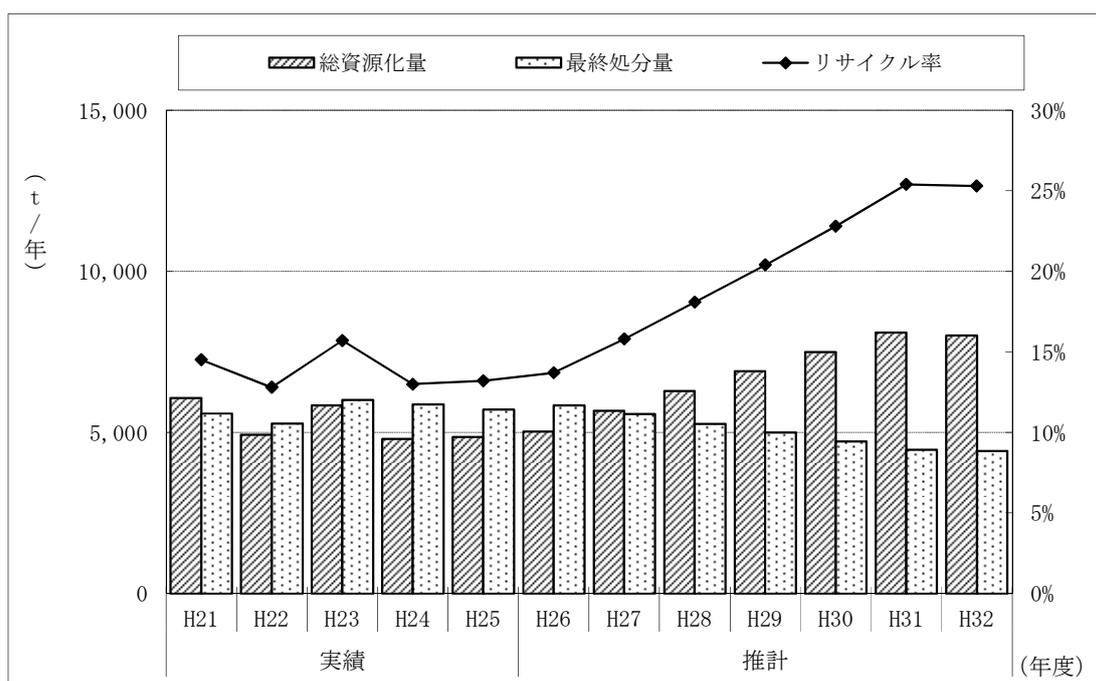


図 S-4 リサイクル及び最終処分目標の設定に関するグラフ

添付資料4 分別区分説明資料

本組合における平成25年4月現在の分別区分を以下に示す。

表 S-3 本組合における分別区分

香 取 市			神 崎 町			東 庄 町		
分別区分	品目例	排出方法	分別区分	品目例	排出方法	分別区分	品目例	排出方法
可燃ごみ	プラスチック等、紙おむつ、くつカセットテープ、台所ごみ等	透明の指定袋	可燃ごみ	プラスチック等、紙おむつ、くつカセットテープ、台所ごみ等	緑色の指定袋	可燃ごみ	プラスチック等、紙おむつ、くつカセットテープ、台所ごみ等	透明の指定袋
大型可燃ごみ	タンス、毛布、布団、木幹等机、イス	壊してしぼる	大型可燃ごみ	タンス、毛布、布団、木幹机、イス	直接搬入	粗大ごみ	たたみ、ソファ、マットレス タンス、毛布、布団、木幹等	直接搬入及び 自宅収集（有料）
資源物	ペットボトル	緑色の指定袋	資源物	ペットボトル	白色の指定袋	資源物	ペットボトル	緑色の指定袋
	空ビン・空カン	黄色の指定袋		空ビン・空カン	黄色の指定袋		空ビン・空カン	黄色の指定袋
	紙類	ひもで十文字 に束ねる		ダンボール、古紙、雑誌 牛乳パック、古着等	資源物回収所へ		紙類	ひもで十文字 に束ねる
	衣類・布類	半透明袋に 入れる		デジタルカメラ、ビデオカメラ 携帯電話、携帯型ゲーム機	回収ボックスへ 直接搬入		衣類・布類	半透明袋に 入れる
小型家電	デジタルカメラ、ビデオカメラ 携帯電話、携帯型ゲーム機 電卓、その他対象品目等	回収ボックスへ 直接搬入	リサイクル家電	パソコン、洗濯機、テレビ等	販売店等へ	小型家電	デジタルカメラ、ビデオカメラ 携帯電話、携帯型ゲーム機 電卓、その他対象品目等	回収ボックスへ 直接搬入
リサイクル家電	パソコン、洗濯機、テレビ等	販売店等へ	不燃ごみ	ガラス、セトモノ類、自転車 金属製品類、電気製品類	赤色の指定袋	リサイクル家電	パソコン、洗濯機、テレビ等	販売店等へ
不燃ごみ	ガラス、セトモノ類、自転車 金属製品類、電気製品類	赤色の指定袋	直接搬入するもの	たたみ、ソファ、マットレス 家具類、農薬缶等	直接搬入	不燃ごみ	ガラス、セトモノ類、自転車 金属製品類、電気製品類	赤色の指定袋
直接搬入するもの	たたみ、ソファ、マットレス 家具類、農薬缶等	直接搬入	処理困難物	タイヤ、ガスボンベ、耐火金庫 育苗箱、消火器、バイク等	販売店、専門 業者に依頼	処理困難物	タイヤ、ガスボンベ、耐火金庫 育苗箱、消火器、バイク等	販売店、専門 業者に依頼
埋立ごみ	少量の石、砂、漬物石 物干し台座等のコンクリート 植木鉢の土	1袋10kg以内 3袋まで 半透明袋						
処理困難物	タイヤ、ガスボンベ、耐火金庫 育苗箱、消火器、バイク等	販売店、専門 業者に依頼						
粗大ごみ	家具類、ベット、布団、イス 香取市（小見川地区、山田地区）	直接搬入及び 自宅収集（有料）						

## 添付資料5 現有処理施設の概要

本組合では、中間処理施設として、伊地山クリーンセンター、仁良清掃工場、伊地山粗大ごみ処理施設、長岡不燃物処理場の4施設、最終処分場として、第二伊地山一般廃棄物最終処分場、織幡一般廃棄物最終処分場、伊地山一般廃棄物最終処分場（埋立終了）を有している。

また、組合の構成市である香取市では、中間処理施設として、香取市佐原清掃事務所（ストックヤード）を有している。

以下に、各施設概要を示す。

表 S-4 伊地山クリーンセンター

施設名	伊地山クリーンセンター
所在地	香取市伊地山字御斎塚665番地2
竣工年月	平成8年3月
敷地面積	24,300m <sup>2</sup>
炉形式	准連続運転
処理方式	ストーカ式（可動）
処理能力	135 t / 16 h （45 t / 16 h × 3 基）
処理対象物	可燃ごみ、可燃性粗大ごみ
主な設備等	受入供給設備、燃焼設備、燃焼ガス冷却設備、灰出し設備、排ガス処理設備 排水処理設備、余熱利用設備、通風設備
余熱利用	場内給湯、暖房、白煙防止
総工事費	6,908,128（千円）

表 S-5 仁良清掃工場

施設名	仁良清掃工場
所在地	香取市仁良字牧野113番地1
竣工年月	昭和55年4月
敷地面積	4,453.56m <sup>2</sup>
炉形式	准連続運転
処理方式	ストーカ式（可動）
処理能力	70 t / 16 h （35 t / 16 h × 2 基）
処理対象物	可燃ごみ、可燃性粗大ごみ
主な設備等	受入供給設備、燃焼設備、燃焼ガス冷却設備、灰出し設備、排ガス処理設備 排水処理設備、通風設備
余熱利用	—
総工事費	2,886,790（千円）

表 S-6 伊地山粗大ごみ処理施設

施設名	伊地山粗大ごみ処理施設
所在地	香取市伊地山字ヤモイ田835番地の2
竣工年月	平成8年3月
敷地面積	1,865.68m <sup>2</sup>
処理方式	破碎・選別
処理能力	35 t / 5 h
処理対象物	粗大ごみ、不燃ごみ
主な設備等	破碎設備、選別設備
総工事費	1,916,933 (千円)

表 S-7 長岡不燃物処理場

施設名	長岡不燃物処理場
所在地	香取市長岡字牧野1539番地
竣工年月	平成7年3月
敷地面積	14,444.87m <sup>2</sup>
処理方式	選別
処理能力	15 t / 5 h
処理対象物	不燃物、鉄類、非鉄金属、ガラス類
主な設備等	選別設備
総工事費	118,141 (千円)

表 S-8 第二伊地山一般廃棄物最終処分場

施設名	第二伊地山一般廃棄物最終処分場
所在地	香取市伊地山字ヤモイ田731番地
埋立期間	平成18年から平成32年度
埋立面積	9,120m <sup>2</sup>
埋立容量	90,100m <sup>3</sup>
埋立物	不燃残渣・焼却残渣
構造	準好気性埋立構造
遮水方式	アスファルトシート
浸出水処理	生物処理（接触ばっき法）＋凝集沈殿処理＋高度処理（砂ろ過＋活性炭吸着処理）＋脱塩処理（電気透析＋真空乾燥機）
総工事費	3,070,890 (千円)

表 S-9 織幡一般廃棄物最終処分場

施設名	織幡一般廃棄物最終処分場
所在地	香取市織幡字別所1061番地1
埋立期間	昭和52年から平成28年度
埋立面積	17,000m <sup>2</sup>
埋立容量	100,000m <sup>3</sup>
埋立物	不燃残渣、焼却残渣
構造	準好気性埋立構造
遮水方式	粘土性による遮水
浸出水処理	凝集沈殿、砂ろ過、活性炭
総工事費	176,630（千円）

表 S-10 伊地山一般廃棄物最終処分場

施設名	伊地山一般廃棄物最終処分場
所在地	香取市伊地山字ヤモイ田720番地1
埋立期間	平成元年から平成17年度（埋立完了）
埋立面積	14,000m <sup>2</sup>
埋立容量	76,250m <sup>3</sup>
埋立物	不燃残渣、焼却残渣
構造	準好気性埋立構造
遮水方式	ゴムシート
浸出水処理	接触酸化、凝集沈殿、砂ろ過、活性炭
総工事費	283,300（千円）

表 S-11 香取市佐原清掃事務所

施設名	香取市佐原清掃事務所
所在地	香取市大崎1900番地
竣工年月	平成25年4月
敷地面積	5,790.8m <sup>2</sup>
処理方式	保管、破碎
処理能力	4.7 t / 日（破碎施設4.6 t / 日、発泡スチロール減容施設0.1 t / 日）
処理対象物	紙類、衣類、ペットボトル、発泡スチロール、剪定枝、廃食用油、使用済小型家電
主な設備等	破碎設備（自走式）
総工事費	201,606（千円）

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1（平成 26 年度）

1 地域の概要

(1) 地域名	香取地域	(2) 地域内人口	103,969人	(3) 地域面積	328.32km <sup>2</sup>
(4) 構成市町村等名	香取市、神崎町、東庄町、香取広域市町村圏事務組合	(5) 地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6) 構成市町村に、一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	香取広域市町村圏事務組合		設立年月日：昭和46年9月3日設立		

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の状況と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状（排出量に対する割合）					目標
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成32年度
排 出 量	事業系 総排出量（トン）	8,366	8,510	7,478	7,002	7,454	6,463 (H25比 -13.3%)
	1事業所当たりの排出量（トン/事業所）	1.9	1.9	1.7	1.6	1.7	1.4
	生活系 総排出量（トン）	31,924	28,453	28,298	28,513	28,001	23,585 (H25比 -15.8%)
	1人当たりの排出量（kg/人）	268	236	236	243	244	181
	合計 事業系生活系排出量合計（トン）	40,290	36,963	35,776	35,515	35,455	30,048 (H25比 -15.2%)
再 生 利 用 量	直接資源化量（トン）	2,155 (5.3%)	1,966 (5.3%)	1,796 (5.0%)	1,456 (4.1%)	1,394 (3.9%)	3,228 (10.7%)
	総資源化量（トン）	6,068 (14.5%)	4,930 (12.8%)	5,838 (15.7%)	4,796 (13.0%)	4,852 (13.2%)	8,004 (25.3%)
熱 回 収 量	熱回収量（年間の発電電力量）	—	—	—	—	—	—
中間処理による減量化量	減量化量（中間処理前後の差 トン）	30,095 (74.7%)	28,226 (76.4%)	25,364 (70.9%)	26,280 (74.0%)	26,301 (74.2%)	19,216 (64.0%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量（トン）	5,587 (13.9%)	5,271 (14.3%)	6,007 (16.8%)	5,873 (16.5%)	5,703 (16.1%)	4,419 (14.7%)

※総資源化量の割合は、リサイクル率である。

### 3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	実施主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力または埋立容量	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	竣工予定年月	処理能力	
仁良清掃工場	組合	准連続式ストーカ式焼却炉	有	70 t /16h	S55.4	H28年3月 廃止予定	老朽化及び地域の焼却施設の集約化のため施設を解体する。またごみ処理量の削減及び資源化の促進のためのストックヤードを整備する。	マテリアルリサイクル推進施設	H30.3	250㎡	
長岡不燃物処理場	組合	選別 (不燃物、鉄類、非鉄金属、ガラス類)	有	15 t /5 h	H7.3	継続使用	資源化促進のための、減容化施設（ストックヤード併設）を整備し、リサイクル率の向上を図る。また、地域の利便性向上のために管理棟及びストックヤードを整備する。	マテリアルリサイクル推進施設	H30.3	10kg/h 320.18㎡	
伊地山クリーンセンター	組合	准連続式ストーカ式焼却炉	有	135 t /16h	H8.3	継続使用	—	—	—	—	
伊地山粗大ごみ処理施設	組合	破碎、選別 (粗大ごみ、不燃ごみ)	有	35 t /5 h	H8.3	継続使用	—	—	—	—	
第二伊地山一般廃棄物最終処分場	組合	サンドイッチ方式	有	埋立面積： 9,120㎡ 埋立容量： 90,100㎡	H18.4	継続使用	—	—	—	—	
織幡一般廃棄物最終処分場	組合	サンドイッチ方式	有	埋立面積： 17,000㎡ 埋立容量： 100,000㎡	S52.11	継続使用	—	—	—	—	
伊地山一般廃棄物最終処分場	組合	サンドイッチ方式	有	埋立面積： 14,000㎡ 埋立容量： 76,250㎡	H1.4	埋立終了	—	—	—	—	
香取市佐原清掃事務所	香取市	保管、破碎	有	4.6 t /日 0.1 t /日	H25.4	継続使用	—	—	—	—	

※ 計画地域内の施設の状況（現況）を地図上に示したものを添付した。（添付資料2）

様式2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2（平成29年度）

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模		事業期間 交付期間		総事業費（千円）					交付対象事業費（千円）					備考		
			単位		開始	終了	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度			
○ 再生利用に関する事業							521,390	63,186	238,068	220,136	0	0	517,684	63,186	238,068	216,430	0	0	
マテリアルリサイクル 推進施設整備							521,390	63,186	238,068	220,136	0	0	517,684	63,186	238,068	216,430	0	0	
リサイクル施設整備 (仁良清掃工場跡地)	1	組合	250	m <sup>2</sup>	28	29	418,510	0	201,261	217,249	0	0	414,804	0	201,261	213,543	0	0	
リサイクル施設整備 (長岡不燃物処理場内)	2	組合	320.18	m <sup>2</sup>	27	29	102,880	63,186	36,807	2,887	0	0	102,880	63,186	36,807	2,887	0	0	
○ 施設整備に関する計画事業							16,029	14,409	0	1,620	0	0	14,409	14,409	0	0	0	0	
事業番号1に係る計画支援	31	組合					16,029	14,409	0	1,620	0	0	14,409	14,409	0	0	0	0	
解体計画、解体実施設計 発注仕様書等作成 ダイオキシン類等調査					27	27	6,966	6,966	0	0	0	0	6,966	6,966	0	0	0	0	
実施設計等作成及び 実施設計見直し業務					27	29	9,063	7,443	0	1620	0	0	7,443	7,443	0	0	0	0	※1
事業番号2に係る計画支援	32	組合					—	—	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	
実施設計等作成 (事業番号1に係る計画支援を含む)					27	27	—	—	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	※1
合計							537,419	77,595	238,068	221,756	0	0	532,093	77,595	238,068	216,430	0	0	

※1 事業番号1及び2は同時期に整備を行うため、計画事業（実施設計、発注仕様書等作成）においては両事業を一体として行う。

様式3

地域の循環型社会形成のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称	施策の内容	実施主体	事業期間 交付期間		交付金の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	
発生抑制、再 使用の推進 に関するもの	11	環境教育、普及啓発の充実	ごみの減量化や再生利用分別等について、市・町広報紙やホームページによる啓発推進の検討、学校等での環境教育及び自治会等、施設見学会の開催によりごみの減量化、分別等の推進を図る。	構成市町 組合	H27	—		継続実施					
	12	多量排出事業者対策	多量搬出事業者に対し、減量化、資源化の協力を徹底する。また、小規模事業者にも減量化に対する協力を求めていく。	組合	H27	—		継続実施					
	13	有料化	有料化の継続、発生抑制と一層の費用負担の公平性の確保	構成市町 組合	H27	—		継続実施					
	14	リサイクルの促進	リサイクル施設(ストックヤード)を整備することにより資源化の増加を図る。	組合	H27	—		継続実施					
処理体制の 構築、変更 に関するもの	21	分別排出及び資源化の促進	分別排出の徹底 発泡スチロール、プラスチック類の資源化を促進する。	組合	H28	—				資源化の促進			
	22	一般廃棄物処理施設の集約	可燃物の焼却処理を伊地山クリーンセンターに集約し、不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを伊地山粗大ごみ処理施設に集約する。空ビン、空カンを長岡不燃物処理場に集約し、資源化の向上を図る。	組合	H27	H28		施設の集約化					
	23	事業系ごみ	減量化、資源化の協力を求め、適正処理を実施していく。	組合	H27	—		継続実施					
処理施設の 整備に関する もの	1	リサイクル施設の整備 (仁良清掃工場解体跡地)	焼却施設を解体し跡地に技術ストックヤードを整備し、資源化を図る。また、災害漂流ごみストックヤードを整備する。	組合	H28	H29	○		焼却炉の解体 ストックヤード整備				
	2	リサイクル施設整備 (長岡不燃物処理場内)	受入仕分け作業場及び管理棟、発泡スチロール・ペットボトル・古紙・衣類・プラスチック製容器包装、及び減容施設及びストックヤードを整備する。	組合	H27	H29	○	ストックヤード整備					
施設整備に 係る計画支 援に関するもの	31	1の計画支援	リサイクル施設整備(仁良清掃工場解体跡地)に係る解体工事のための、廃焼却炉解体事前調査、ダイオキシン類等調査等。リサイクル施設整備に係る解体計画、実施設計、発注仕様書作成を行う。	組合	H27	H29	○	発注支援	実施設計見直し				
	32	2の計画支援	リサイクル施設(長岡不燃物処理場内)整備のため実施設計、発注仕様書作成を行う。	組合	H27	H27	○	発注支援					
その他	41	処理困難物の適正処理	販売店及び専門の処理業者にて処理するよう啓発活動を続ける。	組合	H27	—		継続実施					
	42	不法投棄対策	本組合も、市・町による自治会等の単位に配置した不法投棄監視員との連携、ボランティアによる地域における不法投棄対策。監視活動の強化。散乱ごみの清掃・美化に努める。	構成市町 組合	H27	—		継続実施					
	43	災害時の廃棄物処理に関する事項	それぞれの市町が策定済の地域防災計画を踏まえ、災害の広域的処理体制の確保を図り、周辺地域との連携体制を構築する。	構成市町 組合	H27	—		継続実施					
	44	各種リサイクル法への対応	個別にリサイクル法が制定されている家電・小型家電・パソコン等については、それぞれの法律に基づき適切な回収、再商品化を推進するように、引き続き市、町と協力し普及活動を行う。	構成市町 組合	H27	—		継続実施					

【参考様式1】

施設概要（リサイクル施設系）（1）

都道府県名 千葉県

(1) 事業主体名	香取広域市町村圏事務組合
(2) 施設名称	リサイクル施設（ストックヤード）仁良清掃工場跡地
(3) 工期	平成28年度～平成29年度
(4) 施設規模	ストックヤード 250m <sup>2</sup>
(5) 処理方式	保管
(6) 地域計画内の役割	再利用の促進
(7) 焼却施設解体工事の有無	(有) 無

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	—
---------------------	---

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	—
---------------	---

「ストックヤード」を整備する場合

(10) ストック対象物	枝木竹等、漂流ごみ、災害ごみ
--------------	----------------

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	—
-----------------------	---

(12) 事業計画額	リサイクル施設工事：35,164（千円） 焼却施設解体工事：383,346（千円）
------------	--

【参考様式1】

施設概要（リサイクル施設系）（2）

都道府県名 千葉県

(1) 事業主体名	香取広域市町村圏事務組合
(2) 施設名称	リサイクル施設（ストックヤード）長岡不燃物処理場内
(3) 工期	平成27年度～平成29年度
(4) 施設規模	発泡スチロール減容施設 10kg/h ストックヤード 320.18m <sup>2</sup>
(5) 処理方式	保管
(6) 地域計画内の役割	発生抑制、再利用の促進
(7) 焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	—
---------------------	---

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	—
---------------	---

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	発泡スチロール、ペットボトル、衣類、古紙、プラスチック製容器包装、不燃物、可燃物
---------------	--

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	—
-----------------------	---

(12) 事業計画額	102,880（千円）
------------	-------------

## 計画支援概要（1）

都道府県名 千葉県

(1) 事業主体名	香取広域市町村圏事務組合	
(2) 事業目的	リサイクル施設（仁良清掃工場解体跡地）整備のため	
(3) 事業名称	リサイクル施設整備に係る解体計画、解体実施設計、発注仕様書作成等、ダイオキシン類等調査	リサイクル施設整備に係る実施設計等作成 実施設計見直し業務
(4) 事業期間	平成27年度	平成27～平成29年度
(5) 事業概要	解体計画、解体実施設計、発注仕様書等作成、ダイオキシン類等調査	実施設計等作成 実施設計見直し業務
(6) 事業計画額	6,966（千円）	9,063（千円）

## 計画支援概要（2）

都道府県名 千葉県

(1) 事業主体名	香取広域市町村圏事務組合
(2) 事業目的	リサイクル施設（長岡不燃物処理場内）整備のため
(3) 事業名称	リサイクル施設整備に係る実施設計等作成業務
(4) 事業期間	平成27年度
(5) 事業概要	地質調査、実施設計等作成

(6) 事業計画額	——（千円）
-----------	--------

※事業番号1に係る計画支援事業と一体として行う。